

新飯田地区スローガン：笑顔いっぱい「おたがい様らて」と心が通いあう新飯田

確認事項	評価	*それぞれの項目ごとにチェック	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組みに内容等共有されていますか)	○	確実に行われた場合	○
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか) ・自治協議会も知っていなければならない ・コミ協でもアクションプランを話題として出さなければならない ・地区社協の総会でアクションプランを確認する	×	一部、行われなかった場合	△
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか) ・全戸配布されても見ていない ・自治会の総会時に確認する ・座談会参加者からも自治会等に下していかないとけない。	×	ほとんど行われなかった場合	×

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取り組み		27年度	28年度	取り組み内容
	期待される取り組み				
<b>1. 誰にとっても安心して安全に暮らせる地域づくり</b> (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち・高齢者が安心して暮らせるまち)					
○各家庭で災害時の避難について話し合うようにする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災会による避難訓練の実施</li> <li>・避難所の耐震性の見直し</li> <li>・自治会単位での話し合い</li> <li>・避難所が手狭なため、障がい者や高齢者にとっても安全な避難所の設置場所についての検討 もっと避難所が必要。水害の時は2階へ避難する。民間のビルを借りるようにする(南部でそのような動きがあるところがある) 道の駅をつくって、避難所にしようと検討し、行政に交渉したが、話は進んでいない。</li> </ul>		B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の前に各集会所で自治会単位で話し合いを行った。</li> <li>・障がい者や高齢者について検討はされたが、地区の中で検討内容等の情報共有はない。</li> </ul>
○誰にとっても安全に避難できるよう、避難所の安全について検討を続ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接市(三条・燕・加茂)との協力体制の構築</li> <li>・各自治会が要援護者の名簿をもとに人数や状況を収集する訓練を実施</li> <li>・避難体制づくりの明確化</li> <li>・班長による見守りなどの訓練、細かい話し合い、障がい者や高齢者を対象としたアンケートの実施→実施していない</li> </ul>		D	D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行われていない。</li> </ul>
○地域ぐるみで防犯に取り組む(子どもの安全・見守りも含めて)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全協会による登下校時の街頭指導(春・秋)</li> <li>・自治協議会長、青少協による防犯パトロール</li> <li>・一人暮らしや高齢者世帯のゴミ出しや見守り→手伝っているところもある</li> <li>・認知症の方々をあたたく見守れる地域づくり→やっている</li> <li>・下校時の見守り等に、防災無線を有効活用できるよう働きかける→実施していない(防災無線がない)</li> </ul>		B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ出しや見守りは地域で行われている。</li> <li>・認知症の方々についても見守りが行われている。</li> </ul>
○防犯面からの環境整備を図るための検討を続ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園維持管理協議会による公園の整備、トイレの清掃活動(月1回)</li> </ul>		A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に行われている</li> </ul>
<b>2. 一人ひとりが違うことを分かりあおう</b> (私たちが支え合い、助けあうまち)					
○世代・立場の異なる人同士が一緒に学ぶ・遊ぶ機会として、勉強会・ワークショップ・講演会等を企画する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキング、コンサート、カーリング教室、文化講演会、ピラティスヨガ、小学校地区合同運動会、ソフトボール大会、カレンダー作り、写真コンテスト、読み聞かせ、キャンドルづくり、ふるさとキャンプ等々</li> </ul>		A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の茶の間は2か所</li> <li>・市日で集まる場所が、できている。</li> <li>・区からの補助金を受けて世代間交流を行った。</li> <li>・カレンダーに行事等を記載している。</li> </ul>
○地域の人が集まる場をつくり、お互いを知る機会を増やす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健会による世代間交流、ふれあい茶の間、乳幼児をもつママたち交流、老人クラブ、敬老会、新飯田祭り 安心ささえ愛活動の補助金を活用して世代間交流の実施</li> <li>・各種サークル活動や行事の一覧表を作成し、PRを行う</li> <li>・誰もが気軽に集まれる場が必要 市日で集まる、肉屋さんなど店先に椅子があり、集まる場所がある 地域の茶の間はJA(地域生活センター)とシルバー乙女 男性が出てこない→男性が出てくるようにと、敬老会で劇に取り組んだ。</li> <li>・空き家の活用→取り組んでいる(準備中)</li> </ul>		A	A	
<b>3. みんなの「力」が発揮できる地域にしよう</b> (私たちが支えあい、助けあうまち)					
○高齢者の知恵を、子どもたちへ伝承する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統芸能伝承の会(芸能教室)</li> <li>・世代間交流で、昔遊びや笹団子づくり等とおして高齢者の知恵を教える</li> </ul>		A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代間交流の実施</li> <li>・教育コーディネーターによる活動が活発</li> <li>・下地域のセーフティスタッフ不足している。</li> <li>・街中では、犬の散歩を兼ねて児童の見守りが行われている。</li> <li>・新飯田地域は防犯が行き届いている。</li> </ul>
○地域の人の「経験・力」を生かせるよう工夫する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもみこし、天神様、地蔵様などの祭り</li> <li>・農業体験、みそづくり体験など</li> <li>・世代間交流の場が引き続きあると良い →やっている。教育コーディネーターが頑張っている</li> <li>・低学年と高学年など、対象別にできると良い</li> </ul>		A	A	

推進目標に対する評価	評価
期待される取り組みの90%以上達成	A
期待される取り組みの75%以上達成	B
期待される取り組みの50%以上達成	C
期待される取り組みの50%未満	D

- ・一人で病院へ行けない、電球を替えてもらいたいなど日常のことで困ったことを相談できる総合窓口(コールセンター)
- ・セーフティスタッフ10数人。もっと協力してくれる人がいたら、有難い。国道の反対側まで行ってくれる人がひとり。
- ・白南中学校で各小学校の情報交換会を行っている。

## 茨曾根地区スローガン：笑顔がつどう 明るい茨曾根

確認事項	評価	*それぞれの項目ごとにチェック	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組み内容等共有されていますか) 新しい自治会長はアクションプランについて理解していない。引継ぎは行われていなかった。	△	確実に行われた場合	○
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)	△	一部、行われなかった場合	△
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	△	ほとんど行われなかった場合	×

今後、評価の機会があると良い

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取り組み		27年度	28年度	取り組み内容
	期待される取り組み				
<b>1. 高齢者の楽しい地域づくり (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮せるまち・高齢者が安心して暮せるまち)</b>					
○老人クラブの活動を充実させる、老人クラブを増やす	<ul style="list-style-type: none"> <li>清水・上茨～皆老会、道湯・新村～老人会、下茨～五九朗会</li> <li>畑づくり、神社清掃、日帰り旅行、収穫祭等、活発に活動</li> <li>クラブが出来ていない地区への取り組み 庚は取組みなし、丸湯は班会、東萱場は茶の間</li> <li>リーダーの育成、役員体制の検討</li> <li>老人クラブ活動の充実、活性化</li> <li>仲間づくりから発展させる</li> <li>老人クラブに限らず、サロンやグループなどの自主的な会の活用</li> </ul>	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>老人クラブ3(庚、丸湯、東萱場)には無い・・・病院の班会が集まりがある)</li> <li>老人クラブの活動は活発</li> <li>徘徊模擬訓練実施</li> </ul>	
○地域の茶の間をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>清水、上茨、丸湯、東萱場、道湯、新村では順調に開催</li> <li>庚地域では「中途半端会」開催</li> <li>下茨地域での新規開催</li> <li>お茶の間だよりの発行 茶の間の取組みを皆に周知しつつ次回の開催日を案内</li> <li>他のお茶の間との情報交換</li> <li>お茶の間で活用できる資源の仲介が必要</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>道湯、東萱場のお茶の間は助成金を受けている。</li> <li>自治会から助成(1万円)を受けているところもある。</li> <li>男性中心(年会費あり)で飲み会が継続されている。</li> </ul>	
○閉じこもっている人を誘い出す	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者施設がない。地域と障がい者の交流がなかった。様々な世代が集まれる機会をつくる。周知する。</li> <li>地域での声かけ、訪問事業</li> <li>高齢者や身体的に不自由な方への対応検討</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業は継続されている。</li> <li>障がいのある児童の家族から交流を要望されている。</li> </ul>	
<b>2. 子どもたちの安全な地域づくり～セーフティスタッフ活動に取組もう～ (安心して子育てできるまち)</b>					
○下校時に合わせて大人が気を配る	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区の皆さんが気にかけるようになった</li> <li>子どもたちが挨拶をする。中高生になっても挨拶する習慣</li> <li>ながら活動が定着した</li> <li>各地域から2名ずつ交通安全委員を選出した</li> <li>下校時の見守りに防災無線の有効活用についての働きかけ</li> <li>防災無線は、地域生活センター、東萱場、清水の3か所(丸湯にはない)。地区ごとにプログラミングができるが、要望が挙がってから対応を検討する</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校時に大人も児童生徒も相互のあいさつがされている。</li> </ul>	
○セーフティスタッフ活動に取組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域では6名のセーフティスタッフが誕生し、オレンジのジャンパーで活動中</li> <li>セーフティスタッフの活動に、交通安全協会が協力している</li> <li>白南中では環境安全委員長が、また茨曾根小学校はPTA3役がセーフティスタッフとして活動している</li> <li>地区の危険ヶ所の把握(マップの作成)</li> <li>全自治会での活動の周知とスタッフの募集を行う</li> <li>学校と地域のセーフティスタッフの交流、及び連携が必要</li> <li>地区の危険ヶ所(通学路)の見直し(マップの作成等)</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフは6人</li> <li>交通安全協会から協力隊として18人登録</li> <li>危険個所のマップ(PTA作成)毎年更新している。</li> <li>毎年1回児童と顔合わせ(朝礼)</li> </ul>	
○子どもにも、地区の取り組みを伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の朝会で顔見せを行い、子どもたちに活動を伝えることができた</li> <li>顔の見える関係をつくる(多世代交流や茨曾根応援団の活用など)</li> <li>誰もが集まれる大きな集まり(イベント)を行う</li> <li>27年度に児童館がオープン～高齢者もいっしょに「参加型イベント」の実施</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨曾根応援団の活動(様々な団体が学校に協力)</li> <li>児童館の自主事業に祖父母が来ている。</li> </ul>	

推進目標に対する評価	評価
期待される取組みの90%以上達成	A
期待される取組みの75%以上達成	B
期待される取組みの50%以上達成	C
期待される取組みの50%未満	D

- ・自治会長が忙しすぎる。
- ・計画の管理は年に1度地域で確認することは必要だが、意識が希薄
- ・幅広い年齢層が集まらなると地域に広まらない。

**庄瀬地区スローガン:声かけ会う 話しあう 助け合う 沢山の合(愛)がある 庄瀬**

確認事項	評価	*それぞれの項目ごとでチェック	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	△	確実に行われた場合	○
引継ぎをきちんとしよう (役員交代等、計画について引継ぎがされていますか)	△	一部、行われなかった場合	△
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	△	ほとんど行われなかった場合	×

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組み 期待される取組み		27年度	28年度	取組み内容
	1. みんなの居場所づくり ~誰もがいつでも気軽に集える場を~ (安心して子育てできるまち・障がいのあるひともない人も安心して暮らせるまち・高齢者が安心して暮らせるまち)				
○歩いて来られる場所に集いの場 (地域の茶の間)をつくる	・菱潟、次郎右エ門興野、新道島クラブ、親友会、優心、じじ会など 真木や上八枚など定期的に集まっている。、ゆうわ会(青年会) 地域生活センターをサロンとして動いたことはあったが、集落で集まるうにも 地形的に細長く、集まるのが難しい	・自治会単位での話し合い ・避難所が手狭なため、障がい者や高齢者にとっても安全な避難所の設 置場所についての検討 ・隣接市(三条・燕・加茂)との協力体制の構築 →行政	D	D	・集会所のあるところでは集 まりがある。 ・病院の班会活動の集まり
○男性・女性・障がい者・高齢者・ 子ども…の交流の機会をつくる	・自治会、子ども会中心のお楽しみ会 ・夏祭り(子ども神輿)、音楽会(お寺コンサート)、ママさんバレー、野球 リーグ戦(年3回)、ピンポン、カーリング	・若者世代が中心となって、地域に声掛け センターロビーを活用した交流の場→地域元気の種事業にプレゼンし、助 成金が決定。H29.4~DIYで改装。月1回若い人たちが意見交換している (ラインつながり)	C	C	・3地区合同の神輿 ・若い世代が年3回野球大 会を開催(庄瀬以外からも参 加) ・その他卓球、カーリング ・28年度から地域生活セン ターで月1回の若者の集會
○忙しい地域からも参加できる工 夫を検討する	・桜まつりやライトアップや写真コンテスト(小学校文化祭にて開催。庄瀬 の良いところの写真をカレンダーとして作成) ・庄瀬農村公園祭り→庄瀬まつり、スポーツ大会、花火大会等の総合プロ グラム	・整地をして桜をもっと植え、盛り上げたい	A	A	・調整池に桜を植樹(今後防 除作業が必要)
○閉じこもってしまう方々を既存の 事業(見守り事業、安否確認等) に誘う、声かけ、情報提供	・健生病院班会、老人会(2班)の活動 ・高齢者同士が声掛け(見守り、安否確認等) 近所のお年寄りが茶飲みをやっている。ゴミ出しを協力してくれる人がい る。 庄瀬市(1・6)寄り合い場所(八百屋2軒)送迎や配達をしてくれる(駐在さ んも来る) 孤立している人はいないが、拒否をする人がいる。 ・新しいカタチの老人会の構想 老人会の名称がネック。 65歳になったら入ろうと声を掛け合う。先輩が入らないと入れない?		B	B	・近所同士の集まりがある。 (個人宅) ・市日の露天に集まれる場 所ができる。
○集まる場を増やして、情報交換 及びボランティア活動の場とする	・自治会で高齢者の集まり ・農村公園祭り、桜まつり、保全会の花植え ・長寿を祝う会、芸能祭、防災訓練 ・球根植え、クリーン作戦、空き缶ひろい 10月29日球根植えに90人程が参加してくれた。(1自治会3~4人依頼) イベントなどやっているがまだまだ改善点はある	・声かけ、安否確認などのボランティアを増やす ・地域交流や世代交流の場の拡充	B	B	・庄瀬の行事の一環として 行っている。 ・児童生徒とのあいさつ運 動、セーフティスタッフ活動
2. 一人ひとりが違うことを分かり合おう (私たちが支えあい、助けあいのまち)					
○子どもたちの下校時の安全を地 域で守る	・登下校時の声かけ見守りの実施(青少協20数名) ・小学校であいさつ運動実施 ・民生委員による運動 ・セーフティスタッフの確保と拡充 ・下校時間帯の見守り体制		B	B	取組み内容のとおり
○災害時の支援体制づくり	・自主防災組織 11月6日の総合防災訓練は参加者600人 ・高齢者同士が声かけあえる地域 ・隣近所で見守りができる体制 ・日中、残っている人で支え合える体制づくり ・災害時、安否確認ができる体制づくり		A	A	取組み内容のとおり

推進目標に対する評価	評価
期待される取組みの90%以上達成	A
期待される取組みの75%以上達成	B
期待される取組みの50%以上達成	C
期待される取組みの50%未満	D

- ・地域の特徴として細長い集落で、高齢者には集まる場所が距離的に無理がある。
- ・老人クラブ2つしかない。庄瀬本村にない。  
庄瀬本村に作るとうとするが、うまくいかない。  
65歳になったら自動的に老人クラブの実働部隊として動くような仕組みづくりが必要
- ・検診率が低い。庄瀬は三条市、加茂市、燕市などに受診している人が多い。
- ・仕掛けはしているので、今以上に参加してほしい
- ・お年寄りが寄る会では、情報伝達できる

**小林地区スローガン:声かけ合い 心をつなぐ 小林地区**

確認事項	評価	*それぞれの項目ごとにチェック	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	○	確実に行われた場合	○
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)	△	一部、行われなかった場合	△
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	△	ほとんど行われなかった場合	×

・役員、自治会長は理解していない。アクションプランを聞いたことのない人もいます。会議に議題も出ない。

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組み		27年度	28年度	特記事項
	期待される取組み				
<b>1. 高齢者・障がい者・子どもがつながりを感じられる交流の機会を充実させる (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち・高齢者が安心して暮らせるまち)</b>					
○自治会での目的や年齢にこだわらない定期的な集まりを開催する	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども会、防災会、子ども見守り隊、防犯パトロール、地域の茶の間</li> <li>男性が集まりに出てこない、目玉を考える(リハビリ、マッサージ、軽い運動、女性が誘う等)</li> <li>趣味のサークルなどで交流の輪を広げる(介護予防になる)</li> </ul>		B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>3老人クラブ会員数約200人(新規会員を勧誘している)</li> <li>輪投げ、カーリング、卓球などスポーツ活動が盛ん(男性も多い)市内でも優秀な成績</li> <li>俳句、陶芸など芸術関係サークルが育たない。</li> <li>図書館の利用が最低</li> <li>茶話会(お茶の間)には男性は参加しない。</li> </ul>
○高齢者に限定したお茶の間だけでなく、若い世代を含めて集まれる場を実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の茶の間、ふれあい昼食会、敬老会</li> <li>世代間+障がい者も交えた交流事業(地域の中で障がいに対する理解を得、顔の見える関係づくりを構築する)</li> <li>施設と地域の交流事業 小学校の父母たちはにバリアフリーの認識が深まっているが、地域全体ではまだ深まっていない</li> <li>男性の茶の間をつくる 熱意をもって取り組んでくれる人がいるか。情熱のあるリーダー。リーダーが一生懸命だと集まってくる。茶の間のリーダーになる人に報酬を! 申請書類等は簡素化できないか。 活発にやっている茶の間の助成金(現在3万円)を増やしてほしい。</li> </ul>		B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあい昼食会の開催は15回目(対象者全員かは把握していない(固定化してきている))</li> <li>小学校の父兄などにバリアフリーに対する認識ができています。</li> <li>民生委員や食生活改善推進委員から協力</li> <li>戸頭地区は障がい者事業所と交流</li> </ul>
○単発でなくその後の繋がりを感じられる活動をする	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の茶の間、ふれあい昼食会、歳末訪問活動等声掛け</li> <li>老人クラブのボランティア活動</li> <li>ウォーキング等、自然に参加できる健康づくり</li> <li>近所の見守りや声掛けが必要</li> <li>認知症になった時に近所に伝え、協力を得ることができるようになる</li> <li>曜日を決めて、乗り合わせによる買物支援(有償ボランティアの育成が必要~公民館事業で人材育成ができないか)</li> <li>老人クラブの会員を増やす</li> </ul>		A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>茶の間の運営助成(書類作成などが大きな負担)</li> <li>独居老人が17、今後倍増する。(空家も増える)</li> <li>地域の見守りには地域により差がある。(団地)</li> <li>買い物難民は今後の課題</li> <li>デマンドタクシー利用者は1人</li> </ul>
○祭りのようなイベントを検討する	<ul style="list-style-type: none"> <li>春秋の祭礼、運動会、卓球大会、カーリング大会、文化祭、敬老会、ひな祭りコンサート</li> <li>ひな祭りコンサートは定着</li> <li>祭礼は、日曜日の開催へ(神社に相談)</li> <li>継続した活動へ</li> </ul>		A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のイベント開催は増加</li> <li>推進していく人の組織化が必要</li> </ul>
<b>2. 地区の皆が地域活動情報を知る (私たちが支えあい、助けあいまち)</b>					
○チラシを配布するだけでなく声をかけ、直接一生懸命誘う!!	<ul style="list-style-type: none"> <li>年3回の声掛け訪問</li> <li>話しやすい雰囲気をつくる(配布物の際にひと声かける)</li> <li>防犯パトロールは、年1回(どこまで徹底されているかは不明)</li> </ul>		B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯パトロールなどで実施(徹底しているかは不明)</li> </ul>
○地区の各団体の役員になることで地区活動を知ることができるため、役員を増やすことを検討する	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティ協議会の部会、専門班の組織化</li> <li>検討会の継続</li> </ul>		B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織の設立</li> </ul>
○地区住民も積極的に情報を得る努力をする	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会長協議会・コミュニティ協議会との連携活動</li> <li>コミ協だよりの発行回数を増やし、写真など見やすくした</li> <li>地域の関係団体と災害時の検討を重ねた</li> <li>回覧や案内チラシを渡す際に、ひと声かける</li> </ul>		B	B	
<b>3. 子育てを地域住民で支援しよう (私たちが支えあい、助けあいまち)</b>					
○地域ぐるみで子育てを支援しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>こぼっ子クラブに地域住民が支援する(学童クラブのスタッフは熱意がある)</li> <li>登下校時の見守り</li> <li>子供の通学時に合わせて犬の散歩をする</li> <li>退職された方々に協力頂き、子供たちの見守り活動に参加してもらう</li> <li>畑仕事をしている人から声をかけてもらう</li> <li>こぼっ子クラブの運営に地域の大人が協力し、生活の基本や社会規範を教える</li> </ul>		A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解のある方の熱意が結集している。</li> <li>セーフティスタッフと別に見守り隊が登下校に活動</li> </ul>

推進目標に対する評価	評価
期待される取組みの90%以上達成	A
期待される取組みの75%以上達成	B
期待される取組みの50%以上達成	C
期待される取組みの50%未満	D

- ・ケアシステムについて行政、社協、地域包括から文書が出るが、受け取る側として理解できない部分もある。
- ・介護2以下について地域で予防、見守りしていくように活動目標としている。
- ・空き家の増加 空き家調査17→34? 地域により偏りあり  
一人暮らしが亡くなり、空き家となり、相続の問題
- ・買い物難民 誰かが乗せて行ってくれるか

# 「やろってほ！」笑顔で仲良く臼井地区

確認事項	評価	*それぞれの項目ごとにチェック	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	○	確実に行われた場合	○
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)	△	一部、行われなかった場合	△
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	×	ほとんど行われなかった場合	×

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組		27年度	28年度	取組み内容
	実施している取組	期待される取組			
<b>1. 交流・仲間づくりができる集まる場がある地区</b> (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮せるまち・高齢者が安心して暮せるまち)					
○地区の既存組織を大切に育てるとともに連携する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2カ月に1回のコミ協総務委員会など、複数回での会議、集まり</li> <li>・定期的なお茶の間の活動(4か所)</li> <li>・自主防災会による避難訓練の実施</li> <li>・臼井桜寿会が地域で集まり茶の間をやっている。(4~5人)</li> <li>・年金友の会の名残(昔は旅行などの活動があった)で茶の間の形態をとっていた(農協から補助が出ていた)</li> <li>・若い年代が参加しない(農協から補助がなくなった)ため個人的な集まりとなっている</li> <li>・中心となるリーダーの育成</li> <li>・地区の運動会を行うことでリーダーを作っていく</li> </ul>		B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶の間の利用者が高齢となり中止となった。</li> <li>・地域と子供達の繋がりが少ない、携わることでのリーダーの育成ができる</li> </ul>
○既存の事業を活発にする (狸の婿入り、敬老会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の茶の間</li> <li>・狸の婿入り(写真コンテスト)</li> <li>・伝統芸能の棒おどりを中学校の体育祭で披露</li> <li>・交流の拠点として商店街の空き店舗の活用→地域全体の交流イベント</li> <li>・各団体が協力し合うことでより良いものができる</li> <li>・既存事業を活発にしながら多世代交流できる新しい事業もつくりたい</li> </ul>		A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流の拠点として、たぬきのお茶の間をオープン</li> </ul>
○送迎を含めてだれでも参加できる方法を検討する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老会するとき、送迎している自治会がある</li> <li>・移動手段についての検討</li> <li>・敬老会に大勢参加してもらうための取組み</li> </ul>		A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老会の送迎を自治会長が実施してくれている</li> <li>・敬老会の参加者対象者は、多いが参加者が少ない</li> </ul>
○事業者も地区の一員、積極的に交流を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流まつり(感謝祭)の開催</li> <li>・地域の交流拠点やボランティア活動の推進</li> </ul>		A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流祭りは、毎年開催</li> </ul>
<b>2. ボランティアや地区活動を理解し関心をもてる地区</b> (私たちが支えあい、助けあうまち)					
○あいさつ運動を実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動→標語・ポスター募集、優良作品の選定、表彰、のぼり旗など</li> <li>・あいさつ運動を見守りにつなげていく</li> <li>・あいさつ運動を地区全体へ広める</li> </ul>		A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して取組んでいる</li> </ul>
○ボランティアや地区活動に積極的に参加する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育・生活指導を行っている</li> <li>・食生活改善推進委員による食育・生活指導</li> <li>・福祉施設でのボランティア活動</li> <li>・花植え、読み聞かせなどボランティア活動</li> <li>・子どもの登下校の見守り</li> </ul>		B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校の見守りとして犬の散歩をしている人に見守りをしてもらう</li> <li>・あいさつ犬5頭登録</li> </ul>
○行事や活動の情報提供とPRを努力する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事等を含むカレンダーを作成 →活動のわかる写真を掲載して情報を発信</li> <li>・回覧板やチラシなどの配布物は声を掛けて情報提供</li> </ul>		B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事カレンダーは、全戸配布している</li> </ul>

推進目標に対する評価	評価
期待される取組みの90%以上達成	A
期待される取組みの75%以上達成	B
期待される取組みの50%以上達成	C
期待される取組みの50%未満	D

# なじらね～？と声をかけあう大郷地区

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	○
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)	△
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	×

*それぞれの項目ごとにチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組み
	期待される取組み
<b>1. 支えあいの関係づくり</b> (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮せるまち・高齢者が安心して暮せるまち)	
○隣近所と普段からのコミュニケーションを持つ(あいさつ声掛けをする)	・大鷲小・白根北中のあいさつ運動の強化週間の取り組み ・挨拶は基本。大人から積極的に声を掛け、子供の目線で挨拶をする
○昔ながらの声を掛け合う関係を若い世代に継承していく	・大鷲夜まつりで多世代が交流できる →親と子がつながることで、地域もつながる ・しめ縄づくりで世代間交流 ・地域交流イベントなどを実施しながら声を掛け合う関係を伝えていく  ・小学校とのタイアップ(多世代交流イベントの実施)
○せっかくまだ残っている隣組の良い部分をうまく残していく	・最近冠婚葬祭のみの関係 ・クリーン作戦(年1回)は全戸参加→安否確認、多世代交流 ・隣組を活用して緩やかな見守りを実施したい ・回覧板や配布物は必ず声を掛ける
○みんなが大郷地区のことや活動に関心を持ち、地区の活動を理解し、積極的に参加する	・地域の茶の間 ・お弁当のお届け(給食サービス事業) ・安心箱支給事業 ・友愛訪問活動(安否確認) ・回覧板や配布物は必ず声をかける ・回覧板の工夫 ①デザイン ②キャッチフレーズ ③季節ごとの標語(子どもたちから募集) ・お弁当やおせちの配食、友愛訪問の際に子どもたちからのメッセージを入れたり、一緒に配ったりできないか検討(自治会単位で)
<b>2. 集まる場づくり～年代、目的に関わらない誰でもいつでも寄れる場所を目指して～</b> (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮せるまち・高齢者が安心して暮せるまち)	
○情報の宝庫である“地域生活センター”を拠点に情報や行事を発信し、各集会所へ広げていく	・サークル活動や学童クラブ、子育てサロン、健康体操(いきいき会)等でセンターを活用 ・健康寿命を延ばす ・一人暮らしの方が外に出られるような集まる場づくり ・集会所の整備は大事→下赤渋集会所はH28改修予定
<b>3. 安心して暮らせる地域づくり</b> (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮せるまち・高齢者が安心して暮せるまち)	
○災害時のしくみづくりを進める	・自主防災会を中心とした年1回の防災訓練を実施 ・災害時のマニュアルづくりや地域福祉マップづくり ・防犯対策の検討

27年度	28年度	取組み内容
A	A	通年、登下校時の児童、生徒と積極的に挨拶を交わしている。
A	A	夜祭に園児、児童、生徒の発表をしてもらったり、各集落ごとの祭りにも参加してもらっている。 また、学校事業へ地域住民が参加し、交流を図っている。(カーリング、昔遊び等)
B	B	年1回のクリーン作戦に全戸及び子ども会も参加している。 普段からお隣への声かけが行われている。
B	B	地域の子も達からのメッセージや絵を添えて高齢者に配布。 回覧板での情報発信を続ける。 今後は、地域や学校での出来事なども回覧板を通じて発信を検討する。
27年度	28年度	取組み内容
B	B	コミ協事業への参加者が多い。 下赤渋地区で年3、4回の集まる場づくりが定着化に向かっていている。他地区でも足がかりを模索中。
27年度	28年度	取組み内容
C	C	鷲巻地区との合同訓練の実施。

推進目標に対する評価	評価
期待される取組みの90%以上達成	A
期待される取組みの75%以上達成	B
期待される取組みの50%以上達成	C
期待される取組みの50%未満	D

# 全員集合！鷺巻地区 ～笑顔の和を広げよう～

確認事項	評価	*それぞれの項目ごとでチェック	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	○	確実に行われた場合	○
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)	△	一部、行われなかった場合	△
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	△	ほとんど行われなかった場合	×

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組み		27年度	28年度	取組み内容
	実施している取組み	期待される取組み			
<b>1. 集落に集いの場をつくる</b> (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮せるまち・高齢者が安心して暮せるまち)					
○各集会所を拠点とする体制づくり	・お茶の間の新規開設(中鷺ノ木地区) ・各集落にお茶の間をつくるにはリーダーが必要 ・中鷺ノ木の茶の間をモデル(リーダーや世話人のいない運営)		A	A	毎月20日に、はたちの会を開催(利用者平均8名)
○多世代交流の(機会)場をつくる	・大鷺夜まつり→新しい世代交流活動 →小・中学校との連携で祭りの内容が多彩 ・(桜町)集会所を利用したサークル活動(卓球・カラオケなど) ・桜灯籠まつり(4月中旬/実行委員会方式) ・植栽活動(鷺巻地区保全会の立ち上げ) ・交流の場をつくる →子供が集まる行事は他の世代も集まる ・地域の環境整備活動で地域の繋がりが顔が見える (花植え、クリーン作戦)		A	A	植栽活動として、子供達・保護者と一緒に実施
○既存の事業の拡充(お茶の間)	・下鷺ノ木、桜町、鷺巻いきいきサロンの開設 →参加者が減少 ・今あるお茶の間を継続していくことが大切 ・集会所を大いに活用し、集まることから始める ・健康寿命を延ばす活動→病院の班会を利用する		D	D	サロン利用者が高齢となり、参加者が減少
○ボランティアリーダーの育成を図る	・リーダーを育てる仕組みが必要 →コミ協、行政、社協に期待		D	C	町内に祭り好きな人がいて、ボランティア活動
○老人クラブの活性化	・植栽活動を通して多世代交流をする ・老人クラブと保全会との協働  ・健康寿命を延ばす活動		D	D	・老人クラブ→2クラブ ・上鷺ノ木には、老人クラブがないため、サロンを立ち上げる予定

推進目標に対する評価	評価
期待される取組みの90%以上達成	A
期待される取組みの75%以上達成	B
期待される取組みの50%以上達成	C
期待される取組みの50%未満	D

# 明るく いきいき すこやか 根岸もん

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう(地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	△
引継ぎをきちんとしよう(役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)	○
住民にきちんと伝える機会をつくろう(地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	△

*それぞれの項目ごとにチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組み 期待される取組み
<b>1. お茶の間を全地域につくろう (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮せるまち・高齢者が安心して暮せるまち)</b>	
○新規のお茶の間を立ち上げる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9か所のお茶の間、サロン活動</li> <li>・地区集会場を活用したサロンの立ち上げ</li> </ul>
○既存のお茶の間事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶の間交流会</li> <li>・子供、大人の垣根をなくした集まり</li> <li>・ひまわりクラブと地域の高齢者の交流</li> <li>・案内チラシや回覧板の工夫</li> <li>・ネーミングの変更</li> <li>・子供たちの昔遊びを教える</li> </ul>
○隣近所との協力体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あやめ祭りをはじめとした各種祭り</li> <li>・伝統芸能</li> <li>・米づくり</li> <li>・回覧板の見直し</li> <li>・ちょっとしたおせっかいが大切</li> <li>・登下校時の見守り活動で声掛け</li> <li>・ラジオ体操に多世代が参加</li> </ul>
○趣味のサークル等をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーリング大会</li> <li>・ゲートボール大会</li> <li>・輪投げ大会など</li> <li>・案内チラシや回覧板の工夫</li> </ul>
○リーダーの育成を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種活動を通じ、リーダーの自然発生</li> <li>・役員の引継、途切れない仕組みの構築</li> <li>・役員改選時の勉強会実施や事業手順書の作成</li> </ul>
○地域で要援護者が取り残されないような体制づくりをする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の立ち上げ</li> <li>・根岸地区図上訓練の実施</li> <li>・防災訓練</li> <li>・ちょっとしたおせっかいが大切</li> </ul>

27年度	28年度	取組み内容
C	C	新規は高井興野自治会(27年度3回開催)
B	B	27年度 落語会 28年度2/19予定(大正琴 響の会) 各団体の交流会は回数は不明です
B	B	あやめ祭り6月第3日曜実施 その他各自治会の祭りは春・秋2回実施
A	A	あやめ祭同日で各大会実施 カーリングは1月にも単独でも開催
C	C	28年度役員改選
A	A	10月第1日曜日実施 全自治体が参加 白根北中生徒参加

推進目標に対する評価	評価
期待される取組みの90%以上達成	A
期待される取組みの75%以上達成	B
期待される取組みの50%以上達成	C
期待される取組みの50%未満	D



## 老いも若きもスクラム組んで、住んで楽しい大通

確認事項		評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組まないよう等共有されていますか)		△
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)		△
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)		×

*それぞれの項目ごとにチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組み
	期待される取組み
<b>1. みんなで参加・交流・理解</b> (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち・高齢者が安心して暮らせるまち)	
○学校と地域との協力体制をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の授業や行事に地域ボランティアが積極的に協力している。(老人会の出前授業他)</li> <li>「大通小学校見守りたい」を結成(登下校の見守りマップを作成)</li> <li>地域住民への活動の周知</li> <li>周知活動の強化</li> <li>子どもたちへ活動の意図を理解させる工夫が必要</li> <li>見守りたいとサーフェィスタッフを核とした見守り活動の充実</li> </ul>
○各種団体等の協働を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会、老人会、子ども会、PTA、サーフェィスタッフ、民生児童委員、保健会、食生活改善推進委員、地域ボランティア、コミ協などの相互連携(防災訓練・大通地域合同クリーン作戦など)</li> <li>社会福祉協議会との協働</li> <li>多世代交流、子どもたちの見守り活動、PTA活動、老人会など、もっと情報発信、活動を見える化し理解者を増やし連携を強化する。</li> </ul>
○既存事業を拡充し多世代交流の機会をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生と老人会共同ゴミ拾い</li> <li>地域の茶の間、子育て講演会、大通夏祭り、大通レクリエーションフェスティバル(スポレク)、大通地区文化祭、ふれあい昼食会、敬老会等の開催</li> <li>事業のPR、広報の仕方に工夫が必要</li> <li>自治会単位でお茶の間をつくる(自治会の後押し必要)</li> <li>元気な高齢者が集まれるサークルづくり</li> <li>集会所の利用を増やす(地域に大いに使ってもらおう)</li> <li>地域住民の交流と健康づくり</li> </ul>
<b>2. みんなで作ろう安心安全</b> (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち・高齢者が安心して暮らせるまち)	
○地域内でみんなの声かけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミ協だより、防犯だよりの発行</li> <li>青色パトロール車による防犯活動の実施</li> <li>夜間パトロールの実施</li> <li>高齢者世帯の見守り支援</li> <li>高齢者の見守り、支援体制づくりの充実</li> <li>団体活動PR版など町内で保存版とする</li> <li>ウォーキングや犬の散歩を利用した見守り活動</li> </ul>
○隣近所との協力体制をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災訓練や日頃の連絡網を使用して協力体制の構築</li> <li>老人会の友愛訪問活動</li> <li>活動の資料を整理し、次の役員へ引き継いでいく体制づくり</li> </ul>
○災害時に対する避難体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>大通全地区の防災訓練実施</li> <li>自治会独自の緊急連絡網の整備</li> <li>自治会単位での避難訓練</li> <li>平日の昼間を想定した避難訓練</li> <li>災害時要配慮者への救援体制づくり</li> </ul>

27年度	28年度	取組み内容
B	B	地域コーディネーターだよりを回覧している。秋まつりに中高生からボランティアを募集している。
A	A	不審者情報等緊急連絡網を作成し、一斉に連絡送信できるようにした。敬老会、茶の間でアクションプランを広めようとしている。思いやりネット。
B	B	ホームページを立上げ、定期的に情報を回覧している。ごきんじょネットは月2回の開催。自治会、地域で色々な会が開催されるようになった。老人クラブ、ひまわり会月1回実施。南集会所の利用が上がった。
27年度	28年度	取組み内容
B	B	自治会で連絡網を作り、エリアは限られているがメール配信できるようにした。自治会、民生委員、学校、保育園、老人会と共有していきたい。バス降車時の痴漢対策として集会所に街灯を点けている。
B	B	コミ協内でファイルづくりをし、引継ぎができるようにしている。若い世代に引き継いでいきたい。
D	D	昼間の訓練は人が集まらず計画しづらい。要援護者のリストを自治会、班長だけが知っている。自治会によっては誰が要援護者に関わるか把握している。関わり方について自治会でマニュアルを作りたい。

推進目標に対する評価	評価
期待される取組みの90%以上達成	A
期待される取組みの75%以上達成	B
期待される取組みの50%以上達成	C
期待される取組みの50%未満	D

## 白根地区スローガン: みんなにやさしい シロネもん

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	○
引継ぎをきちんとしよう (役員交代等、計画について引継ぎがされていますか)	△
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	△

*それぞれの項目ごとにチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取り組み 期待される取り組み
<b>1. 集まる場をつくろう</b> (安心して子育てできるまち、障がいのある人もない人も安心して暮せるまち、高齢者が安心して暮せるまち)	
○お茶の間活動を充実させる	・お茶の間(簗口、日の出、十五軒、清楽苑、中央郵便局、魚町、みんなの茶の間) ・空き家活用できないか ・周知活動の強化
○気軽に誰もが集まれる場づくりを検討する	・商店街で定例会、公園の草取り(年3~4回)お祭りに神社の草取り ・地域の人が集まるきっかけづくり ・町内会など小さな単位の集いの場づくり
○心配な人に対する訪問活動を検討する	・民生委員の訪問活動、日の出町のネットワーク活動、自治会班長の声かけ(配付物届の際)住民同士で気にかけている ・子ども会から行事など声かけ ・保健会と老人会がタイアップした活動
○地区のみんなが顔見知りになるための活動を検討する	・花見、まつり、新年会、お茶の間等で交流(中央通5、魚町4など) ・町内会総会を兼ねた懇談会(諏訪木7) ・町内会での茶の間の立ち上げ ・町内で上記にあるようなイベント検討
<b>2. みんなが地域の情報を知る</b> (安心して子育てできるまち、障がいのある人もない人も安心して暮せるまち、高齢者が安心して暮せるまち)	
○地区活動のPR方法を各実施主体が工夫する	・コミ協だよりの発行、ホームページポスター、チラシ、回覧板 ・町内会の集まりで情報提供、学校だよりの回覧 ・配付物を目にとめてもらう工夫 ・団体活動PR版など町内で保存版とする
○お茶の間など集まる場を活用し、地区の活動などを共有する	・茶の間や自然に集まる場があり地域情報を得ている ・情報を得る場としてお茶の間を広める ・茶の間等に参加できない人への対応
○災害など非常時のスムーズな情報伝達体制をつくる	・災害時の援護体制確立(古川団地) ・町内会で家族構成を把握し、いざという時の協力体制(文京町、水道町、桜町5) ・防災訓練の実施と要援護者の確認 ・上記の自治会のような活動を広める
<b>3. 町内会の活動を見直そう</b> (私たちが支えあい、助けあうまち)	
○まつりに積極的に参加してもらうための働きかけをする	・まつりでよさこいできた ・まつりを継ぐ人の育成 ・魅力あるまつりを工夫(よさこいチームの結成)
<b>4. 若い世代に「福祉」に参加してもらう</b> (私たちが支えあい、助けあうまち)	
○若い世代の自治会等の役員をターゲットに小さなことでも関わってもらおう工夫を検討する	・南っ子ふゆまつり、ふれあい親子まつり ・親子会(魚町連合会) ・子ども会と町内会がタイアップした事業 ・世代間交流事業(敬老会の工夫など)

27年度	28年度	取り組み内容
B	B	七軒茶の間なごみの会、魚町活き活き倶楽部などが加わり11団体が活動
B	B	南地域の茶の間、白根健康福祉センター(まちなかの和、コンサート、ウォーキングコース)
B	B	住民同士で気に掛けあっている。
B	B	町内会総会や白根祭りなどでの町内親睦 夏休みラジオ体操 町内会と子供会合同
27年度	28年度	取り組み内容
B	B	回覧板によるPR、地域センターなど公共施設でのポスターやチラシ
B	B	
B	B	南部、中部、北部とも防災訓練を実施
27年度	28年度	取り組み内容
B	B	勇南(太鼓チーム)、菖句会(一の町、リオンドールでの踊り)
27年度	28年度	取り組み内容
B	B	南っ子ふゆまつり→しろねふゆまつり ふれあい親子まつりは27年で終了 子供みこし(町内会と子供会合同開催)

推進目標に対する評価	評価
期待される取り組みの90%以上達成	A
期待される取り組みの75%以上達成	B
期待される取り組みの50%以上達成	C
期待される取り組みの50%未満	D

# なじらね ばかい〜ね いきいき ふれあい ささえあい 味方地区

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	○
引継ぎをきちんとしよう (役員交代等、計画について引継ぎがされていますか)	×
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	×

*それぞれの項目ごとでチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組 期待される取組
<b>1. 閉じこもっている高齢者に外に出てもらおう (住みなれた南区で自分らしく暮らせる地域づくり)</b>	
○地域ごとの茶の間を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー懇談会開催</li> <li>・趣味活動</li> <li>・お茶の間9カ所、子育てサロン1カ所開催</li> <li>・新しい取組など工夫が必要</li> <li>・次世代につなげる</li> </ul>
○老人会の活動に積極的に参加する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輪投げ大会(小学生も参加)</li> <li>・ゲートボール、草取り</li> <li>・楽友荘でお楽しみ会(会員以外も参加)</li> <li>・魅力ある老人会で、新規会員の加入を図る</li> <li>・多世代交流の場づくり</li> </ul>
<b>2. 交流の場を広げ、みんなで参加しよう (住みなれた南区で自分らしく暮らせる地域づくり)</b>	
○障がい児者との交流の場をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリ友の会</li> <li>・身体障がい者の集まり、運動会</li> <li>・小中学校の総合的な学習時間</li> <li>・障がい者、健常者、高齢者混じった交流</li> <li>・顔見知りになるゲーム、食事会など</li> </ul>
○男性ボランティアの育成を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人会の輪投げに男性参加</li> <li>・具体的な役割を依頼(防災等)</li> <li>・核になる人の育成</li> <li>・電球の交換等、ちよこっとボランティア</li> </ul>
○地区敬老会の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3地区ともに盛大、高齢者同士の交流の場</li> <li>・新規会員の加入を図る</li> <li>・敬老会を世代間交流の場として工夫</li> </ul>

27年度	28年度	取組み内容
B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶の間、子育てサロンの設置数は、現状維持。</li> <li>・お茶の間に参加するとき利用者が声を掛け合い誘いあっている。</li> </ul>
A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人会で「味方音頭」を復活させた。</li> <li>・老人クラブ・自治会・親子の参加をつのってレク大会を開催。</li> </ul>
27年度	28年度	取組み内容
B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者同士で研修の充実を図っている。</li> <li>・西特別支援学校児童と味小学生との交流会を実施。</li> <li>・老人デイサービス味方内に「なちゆるる」ができ、障がい児の居場所となっている。</li> </ul>
B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らし配食サービスの配達ボラを増員した。</li> <li>・ゴミ出し支援の増員</li> </ul>
A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老会への出席の際、対象者同士の声かけをした。</li> <li>・敬老会余興への参加。</li> <li>*地域の伝承(こども神楽舞)</li> </ul>

推進目標に対する評価	評価
期待される取組みの90%以上達成	A
期待される取組みの75%以上達成	B
期待される取組みの50%以上達成	C
期待される取組みの50%未満	D

# あいさつ 声かけ 思いやり つながいふっとつ 獅子の里

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	△
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)	○
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	△

*それぞれの項目ごとでチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組 期待される取組
<b>1. 子どもを含めての世代間交流の活動をしよう (住み慣れた南区で自分らしく暮らせる地域づくり)</b>	
○セーフティスタッフの活動を充実させる	・月潟・大別当で5~6人が活動 ・ながら見守りで良いので、地域全体の活動へ ・スクールバス降車後、自宅までの見守り ・スタッフ確保のためにも活動のPR
○地域の茶の間に子どもたちを招いて一緒に活動する	・大別当、曲通、月潟の茶の間では、世代間交流の日を設けている ・保育園や学校に高齢者が行く ・茶の間の活動を積極的にPR ・健康センターを有効活用して、新しいイベントを
○ふれあいスクールを継続する	・ふれあいスクールの継続実施 ・保護者も運営スタッフとして参加 ・ボランティアの募集 ・老人クラブの協力
<b>2. 地域の茶の間を各集落につくろう</b>	
○今あるお茶の間以外にも、各集落に地域の茶の間をつくる	・既存の茶の間の実施 ・茶の間の活動を積極的にPR
○今あるお茶の間については、継続し充実していく	・既存の茶の間は継続実施 ・魅力ある茶の間づくり
<b>3. 地区の運動会を盛り上げよう (住み慣れた南区で自分らしく暮らせる地域づくり)</b>	
○月潟地区全体が参加し、運動会を盛り上げ、住民同士がふれあい、交流を深める	・全集落参加の運動会の継続実施 ・地区役員の負担の軽減 ・魅力ある内容
<b>4. ボランティア・地区のリーダーを育成しよう (住み慣れた南区で自分らしく暮らせる地域づくり)</b>	
○今ある組織・グループの活動を若い世代に継承する	・南天の会、セーフティスタッフのメンバー募集 ・中学生の奉仕活動 ・仕事をしている人も参加できる工夫 ・世代間交流や茶の間活動のなかで、ボランティアリーダーを育成
○活動を楽しく・満足感や達成感が持てるようにする	・各団体で研修会や懇親会の実施 ・活動のPR
○個人個人の意識がアップするような啓発事業を充実する	・健康と福祉のつどいを開催 ・認知症の理解を深める活動を実施 ・月潟デいのふれあい祭りの開催 ・啓発事業の充実 ・防災無線を活用し、徘徊した人を地域で探す

27年度	28年度	取組み内容
C	C	・スタッフは現状維持でなかなか地域全体への活動にならない。 ・今後、コーディネーターと連携し、スタッフの確保に努める。
B	B	・子どもの数が少ないので開催が難しい地区がある。 ・茶の間によって世代間交流を積極的に実施している。
B	B	・スタッフに多少の参加増あり。 ・スタッフ以外にPTAの協力がある。 ・他からの協力が得られない。

27年度	28年度	取組み内容
B	B	・現状維持(5地区)で開催している。5茶の間/8地区
B	B	・現在、世代間交流を3カ所のお茶の間で取り組んでいる。 ・今後、各お茶の間で積極的に世代間交流を実施していきたい。 ・若い世代への呼びかけ。

27年度	28年度	取組み内容
A	A	・毎年、全地区参加で実施している。

27年度	28年度	取組み内容
B	B	・中学生が積極的に奉仕活動に取り組んでいる。(缶拾い等) ・コミ協を中心に実施している。
B	B	・ボランティアの高齢化。 ・若い世代への参加を促す。 ・「声かけ」
A	A	・コミ協、地区社協等で研修会等実施をしている。 ・今後、若い世代向けの研修等の内容を検討する。

推進目標に対する評価	評価
期待される取組みの90%以上達成	A
期待される取組みの75%以上達成	B
期待される取組みの50%以上達成	C
期待される取組みの50%未満	D